

2023年1月31日  
株式会社三菱UFJ銀行

AEON CREDIT SERVICE (M) BERHAD 社で  
「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一（以下、当行））は連結子会社の MUFG Bank (Malaysia) Berhad（Chief Executive Officer たかまつ ふみお 高松 文生）を通じて、イオンフィナンシャルサービス株式会社（代表取締役 ふじた けんじ 藤田 健二）の連結子会社 AEON Credit Service (M) Berhad（Stock Code：5139、マレーシア、Managing Director まえだ だいすけ 前田 大輔（以下、当社））との間で、マレーシア株式市場の上場ノンバンクとしては初となる「サステナビリティ・リンク・ローン」（以下、本契約）を締結致しました。

本契約は、ローン・マーケット・アソシエーション<sup>1</sup>等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則（以下、SLL 原則）に即したものです。SLL 原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPTs）を設定し、金利などの貸付条件と SPTs に対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPTs 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

当社は1996年に設立され、マレーシアにおけるバイクローン、自動車ローン、パーソナルローン、クレジットカードの発行、プリペイドカードの発行、保険仲介事業など包括的な金融サービスを提供するリーディングカンパニーとしてマレーシア株式市場に上場しており、サステナビリティコミッティを独自に設置し、サステナビリティ基本方針を定めています。

本契約では、イオンフィナンシャルサービスグループのサステナビリティ基本方針及び当社のサステナビリティ基本方針に準拠した SPTs を設定しています。ホーカーや小規模商店等への金融支援、低炭素製品購入に関するグリーンパーソナルローン、電動バイクファイナンスなどの融資実行に関する目標を掲げるとともに、当社自身の二酸化炭素排出削減に向けた目標を設定し、本契約を通じてその実行に対するコミットメントを強化します。

また、本契約では、SLL 原則への準拠及び SPTs の合理性について外部評価機関より第三者意見を取得しています。

（本契約の概要）

借入人	AEON Credit Service (M) Berhad
貸付人	MUFG Bank (Malaysia) Berhad
金額	200 百万マレーシアリングgit
期間	3 年
資金用途	長期運転資金

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に 65 ヶ国以上約 800 機関が加盟。

以 上